

●財政基礎講座・財政が怖い人大歓迎 二日間延べ10時間徹底的に学びます。アシスタントがお手伝いするので安心です

よくわかる市町村財政分析

財政危機。いまやどの自治体でも決り文句です。財政が分からずに残念な思いをいませんか。実はどのまちにも改善すべき多くの財政課題があります。財政分析が苦手な人や忙しくて困っている人のために、二日間で財政分析の基礎が学べる集中講座を用意しました。

各回先着
70名まで

- ◇講師 **大和田一紘** 都留文科大
- ◇期 日 **第1回—2013年4月20(土) 21(日) *内容は2回とも同じです。**
第2回—2013年5月11(土) 12(日)
- ◇会場 **富士電機能力開発センター** (Tel. 042-585-6334、富士電機の宿泊研修施設です。)
* JR中央線・豊田駅北口徒歩5分。東京駅—豊田駅は中央特快46分、快速57分。
- ◇受講料 **24,150円** (消費税込。以下同様)

町村議員と当講座の再受講者 21,000円、当研究所会員は18,900円

- ◇宿泊と朝食 先着50名まで同じ施設で宿泊できます。朝食付きで6,100円です。下記で申し込んでください。
- ◇テキスト 『増補版 習うより慣れろの市町村財政分析』(大和田一紘著 2,310円 自治体研究社)
テキストは必ずお持ち下さい。「テキスト事前購入」を希望の方は送料サービスで事前に送付します。
- ◇特色 どんな資料をどこから入手し、どう読み込むか? 財政指標の意味は? 今後の財政運営のあり方は? 財政改善の手立ては? すべての疑問に答えます。質問や演習の時間も確保して丁寧に指導します。

*申込み方法 下記の申込書をFaxまたはメールでお申し込み下さい。申し込まれた方には受講案内(会場地図・宿泊案内・持ち物案内等)をお送りします。

◆よくわかる市町村財政分析基礎講座 参加申込書

氏名 _____

領収書宛て先(名称) _____

住所 〒 _____

電話 _____ fax _____

携帯電話 _____

○で囲んでください
受講日 4/20, 21 ・5/11, 12
割引 町村議員・再受講
 当研究所会員
宿泊(朝食を含む)
 希望する・希望しない
テキスト事前購入
 希望する・希望しない

主催 NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 日野市神明 3-10-5 エスプリ 日野 103 Tel.042-586-7651・Fax042-514-8096
Eメール: tamajitiken1972@yahoo.co.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/tamajitiken/>

今回の目玉は、

- ① 新たに公開された財政状況資料集の見方
- ② 誰にでも分かる財政健全化法の解き方

* 講座修了者には修了証を発行します。

第1講 地方財政を取り巻く環境の変化 —初めて学ぶ人のために—

限られた財源は公正に使われていかなければなりません。そのために市町村の財政の仕組みを、市民の立場から分析する意味を学びます。どんな資料を、どこから手に入れるかという案内もします。

第2講 市町村のふところは —歳入の仕組みを学ぶ— 市町村の歳入の仕組みを学び「入るを

量って出づるを制す」の意味を考え、更に分権にふさわしい歳入の仕組みのあり方を示します。

第3講・第4講 市民から見た税金の使われ方 —歳出の仕組み—

歳出の分析を通して首長の政治姿勢や政策を学び、新しい住民ニーズに見合った歳出のあり方、土木・投資型(ハコもの)行政から安全・安心、環境、教育、福祉型への転換を考えます。

第5講 地方交付税算定台帳の使い方を学ぶ

いま交付税算定台帳が注目されているのには市町村の交付税の重要性が増し、基準財政需要額を避けてとおれなくなったことです。特に合併した市町村にとっては、なおさらです。

第6講 財政分析を実際に行ってみて

財政分析は過去20年余りの決算カードを使い、財政の動きを表にします。更にグラフ化により、財政の特徴が明確になります。その第一歩として、自分で作表を行います。作業をすると理解が深まります。

第7講「地方財政健全化法」の施行とその生かし方—特別会計、土地開発公社、一部事務組合等分かりにくい会計の見方—

いつのまにか大きく膨れ上がった特別会計や、見えにくい会計を分かりやすく連結することで、これからの財政運営のあり方が見えてきます。同時に「地方財政健全化法」の概略を学び、12年10月に総務省から公開された「財政状況資料集」の見方を学びます。

第8講と質疑応答 これからの財政運営と住民参加の財政白書づくり

当面の自治体財政運営のあり方を考えます。限られた財源で市民本位の施策を実現するためにどうすべきか。その手順や方策にも触れます。

時間割	◇1日目	第1講 13:00~14:00	第2講 14:15~15:45	第3・4講 16:00~18:00	第5講 18:15~19:30
	◇2日目	第5講 9:00~11:00	第6講 11:15~12:30	昼食 12:30~13:30	第7講 13:30~15:00